

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 越谷 ラフ			
○保護者評価実施期間	2026年 3月 6日		～	2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日		～	2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3 月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	系列店や他法人との合同交流会を開催している。県立公園が目 の前の自然豊かな療育環境。	普段とは違った相手との関わりを通じて、新たな発見や経験を 積めるように取り組んでいる。 一番大切にしていることは「楽しい」と思ってもらえること、 子供のペースに寄り添った支援。散歩やドングリ拾い、サン ルームでの活動など、季節の移り変わりを感ずることが出来る 取り組み。	交流を通じて子供も大人も新たな発見があるが、交流会に留 まらず職員間での事例検討や相互交流を図っていく。
2	調理体験	短縮下校や休校日を中心に、子供たちを主体とした調理体験を おこなっている。 火おこしやみじん切り、手でちぎるなどその子に応じた過程を 通じて全員で作り上げ、みんなで味わうこと大切にしている。 上手下手にとらわれず、チャレンジ出来たことを大切にしてい る。	メニューや調理バリエーションの増加。
3	クリニックとのつながり	同法人のクリニックと連携する事で、STや心理士等の専門的 な知見に基づいたアドバイスを支援員間で共有し、根拠に基づ いた療育を提供できる体制を整えている。	日々の支援に各専門職の知見を活かした支援をおこなってい く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性の向上	エビデンスに基づいた支援の不足	専門職との連携強化の推進
2	保護者同士の交流支援	保護者同士の交流や情報交換の機会不足	勉強会やピアサポート等の開催
3	情報発信の弱さ	情報発信の方法や頻度等の不足	情報発信に関する新たな取り組みや方法の検討